

3月の園だより

作陽

令和6年2月22日発行
社会福祉法人 作陽保育園

～心のページ～

ちえ
智慧

第71回卒園式について

3月23日(土)の卒園式では白組21名の子どもたちが巣立っていきます。白組園児と保護者の方々、在園児代表として緑組園児、職員が参加します。心を込めて、門出をお祝いしたいと思います。

☆黄・桃・赤・りんご組はお休みとさせていただきます。お忙しい時ではありますが、よろしくお願ひします。

お茶会について

白組さんは3月11日(月)に保護者をお招きしてのお茶会を計画しています。

本田宗美先生に教えていただき、この一年間がんばって取り組んできた茶道のお手前を保護者の皆様にご披露いたします。自分たちで作った抹茶茶碗にお茶を点て、保護者の方に飲んでいただきます。

子どもたちががんばる姿を楽しみにして下さいね。

小学生が遊びに来ます

卒園児の同窓会で、小学校6年生が保育園に遊びに来ます。久しぶりに会うお友だちや先生たちと、保育園での思い出を話したいと思います。

3月うまれのおともだち

京都に西田天香が始めた一燈園の学校があります。小学校から高校まで一学年十名くらいの小さな学校です。

普通の教科の他に作務があり、周囲に役立つことを授業としています。「天香科」という授業では朝の瞑想、昼の食事の作法、作務、奉仕活動をしします。自分を深め、天地自然の中の自分の存在をみつめ自然にかなう生活をしています。

そこで滅多にないことですが、いちど中学生の仲良しグループから現金がなくなる事件がありました。校則のない学校です。みんなにきいても「盗みました」なんていいません。校長は「一燈園らしい」方法を考えました。毎朝瞑想を行う禮堂に中学生全員を集め、校長が丸窓に向い、天香さんに報告しました。「あなたの創られた学校でこんな事件が起きました。今日ようやく盗ったものがわかったのでご報告します」。中学生全員が聴いている中で天香さんに語りかけました。「犯人の名は相大二郎です」「校長でありながら学校を穢してしまいました。だから今から一人ずつ中学生に警策で肩を打ってもらいます」。校長が畳に座り、中学生が警策で校長の肩を打つ。打つ前と後では互いに合掌する。仲良しの女子四人グループにも順番がまわってくる。みんな泣いていたが、その中の一人は泣きじゃくって打てない。そっと肩に警策を当てるだけで手を合わせた。それを中学生全員がじっと見ている。

その子が犯人とはきめつけられません。証拠もないし、感受性が人一倍強かったのかもしれない。犯人などわからなくていい。その子がそうだったとしても、そういう罪を金輪際おかしてはならないと気づけばそれでいい、との解決法はまさに智慧ある方法でありましょう。

出典「明日への叡智」村上和雄

木々の芽がふくらみ、春の訪れを感じられるようになりました。今年度も早いもので、残すところあと1ヶ月となりました。

子どもたちは、様々な経験・体験を通じて、心と身体がひとまわりもふたまわりも大きく成長し、次の進級・進学へと期待で胸を膨らませています。残りの日々も充実し、楽しい思い出がたくさんできるように過ごしていきたいと思ひます。

作品持ち帰りについて

一年間、子どもたちが経験したことや、楽しかったことなどを描いた絵や、思いを込めて製作した作品をまとめた思い出集を持ち帰ります。

どの作品も、子どもたちの大切な思い出がつまった貴重な宝物です。また、成長の記録でもありますので、大切に保管してあげて下さいね！

連絡帳をつづっています

一年間、連絡帳を活用させていただき、お子様のお家での生活の様子や、園での様子を伝え合うことができました。お忙しい中、ご記入いただきありがとうございます。

今年度の連絡帳をつづってお返しいたしますので、育児日記の代わりとして、お子様の成長を振り返ってみてくださいね。

お知らせ

☆4月2日(火)に入園・進級式を行います。新入園児親子・在園児のみの参加で行なう予定です。詳細は後日文書連絡いたします。